

セネガル入国時のワクチンについて

2026年3月9日
在セネガル日本国大使館

概要

- 現在、セネガル入国時に黄熱病を含むワクチン接種証明書（いわゆるイエローカード：International Certificate of Vaccination or Prophylaxis）の提示は原則として**必須ではありません**。セネガル外務省の2026年3月9日付コミュニケにより、流行国・常在国以外からの入国者について、黄熱・DPT（ジフテリア／百日咳／破傷風：Diphtheria/Pertussis/Tetanus）、麻疹（Measles）、A型・B型肝炎（Hepatitis A/B）ワクチンは「推奨だが義務ではない」と明示されています。^{[2][16]}
- 一方で、世界保健機関（WHO）および各国公的機関（CDC等）は、西アフリカ地域への渡航者に対し、黄熱を含む渡航関連ワクチン接種を**強く推奨**しています。^{[3][4][5]}
- 当館としては、健康管理および渡航先でのトラブル防止の観点から、**セネガル入国前に、黄熱ワクチンを含む必要な予防接種を済ませてから渡航されることを強く推奨**します。^{[3][4]}

黄熱ワクチン（Yellow fever vaccine）について

● 現在の入国要件とセネガル国内の状況

- セネガル外務省コミュニケにより、日本など黄熱非汚染国から直接入国する場合、黄熱ワクチン接種は「**推奨**」だが**義務ではない**とされています。^[2]
- しかし、WHO「International Travel and Health（ITH）」では、セネガルを黄熱病感染リスク国（汚染国）と分類し、**9か月以上のすべての渡航者に黄熱ワクチン接種を推奨**しています。^{[3][4][5][6]}
- セネガル国内では、ダカールを含め黄熱患者の発生が報告されており、黄熱ウイルスが持続的に存在する地域です。^[4]

● なぜ入国前の接種を「強く推奨」するのか

- 1) セネガル自体が黄熱感染リスク国であり、流行が完全に収束しているわけではないこと。
- 2) セネガルから周辺国（例：マリ、ギニア、ガンビア等）に渡航する場合、多くの国で、入国時にイエローカード提示が義務付けられているため、日本出発前に接種しておけば、後の周遊旅行・出張でも対応が容易になること。^{[4][5][6]}
- 3) 日本など黄熱非汚染国から出発した場合であっても、**途中で「黄熱感染リスク国」で乗継（トランジット）を行った渡航者は、国境当局の実務上、「黄熱汚染国を経由した入国者」と見なされる可能性**があります。
- 4) 黄熱ワクチンは通常**1回の接種で生涯有効**とされており（2016年以降の国際規則）、追加接種（booster）は原則不要であること。
- 5) 入国管理現場では制度変更の周知が不徹底な場合があり、係官の認識差により、**イエローカードの有無を巡って議論・足止めが発生する可能性を完全には否定できない**こと。

● 実務上の目安

- 日本からの渡航者は、**黄熱ワクチン接種済みでイエローカードを携行していれば、「セネガル国内の健康リスク管理」と「周辺国への出入国手続き」の両面で安心感が高い**と考えてください。^{[4][5]}
- 接種は国際予防接種指定医療機関（travel clinic等）で行われ、**入国10日前まで**に済ませることが推奨されています。
- 高齢者、妊娠中、自己免疫疾患・免疫抑制治療中の方など、黄熱ワクチン接種に注意を要する方は、かかりつけ医やトラベルクリニックで必ず個別相談を受けてください。

その他の推奨ワクチン（渡航ワクチン全般）

以下は、日本からセネガルを訪れる際に、一般的に推奨されるワクチンの一覧です。具体的な接種の要否・スケジュールは、年齢・既往歴・滞在期間・滞在地域（都市部か地方か）などにより異なりますので、事前に医療機関でご相談ください。

1. 渡航前に確認すべき「基本ワクチン」（Routine vaccines）

- ・ 麻疹・風疹・おたふくかぜ（MMR：Measles/Mumps/Rubella）
- ・ 破傷風・ジフテリア・百日咳（Tdap / DPT：Tetanus/Diphtheria/Pertussis）
- ・ ポリオ（Polio）
- ・ 季節性インフルエンザ（Seasonal influenza）

これらは日本国内でも定期接種の対象ですが、世界的に麻疹等の流行が断続的に報告されているため、**成人でも接種歴・抗体価に応じた追加接種が推奨される場合**があります。

2. 渡航により追加で推奨されるワクチン

- ・ A型肝炎（Hepatitis A vaccine）
 - 主な感染経路は汚染された水・食物であり、セネガルを含む西アフリカ地域への渡航者には一般的に推奨されています。
- ・ B型肝炎（Hepatitis B vaccine）
 - 血液・体液を介した感染で、医療行為を受ける可能性のある方、長期滞在者、現地の人との密接な接触が見込まれる方に特に推奨されます。
- ・ 腸チフス（Typhoid vaccine）
 - 上水・食品衛生が十分でない地域に滞在する場合や、地方都市・農村部に長期滞在する方に推奨されます。
- ・ 髄膜炎菌ワクチン（Meningococcal ACWY conjugate vaccine）
 - セネガルはアフリカの「髄膜炎ベルト（meningitis belt）」の西端に位置し、乾季（おおむね11～4月）には細菌性髄膜炎のリスクが高くなります。長期滞在者、現地住民と密接に生活する方、医療従事者等では接種を検討すべきです。
- ・ 狂犬病ワクチン（Rabies pre-exposure vaccine）
 - 犬・猫・野生動物との接触が避けられない方、動物関連の業務に従事する方、地方部に長期滞在される方では事前接種が推奨されます。

※その他、当館「セネガルの医療事情」にて、ワクチン以外を含む感染症・予防策全般を解説していますので、併せてご参照ください。

受診先と相談のタイミング

- 渡航のできれば1～2か月前までに、トラベルクリニック（Travel clinic）やワクチン外来でご相談ください。ワクチンスケジュール（特にB型肝炎など複数回接種が必要なもの）を組むためには時間的余裕が必要です。
- 黄熱ワクチン接種後10日目から接種証明（イエローカード）が有効となります。
- 持病や服薬中の薬がある方、高齢者、妊婦、免疫抑制状態の方は、かかりつけ医とトラベルクリニックの両方で相談されることをお勧めします。

Reference

1. セネガルの医療事情 https://www.sn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_01821.html
2. セネガル政府コミュニケ <https://diplomatie.gouv.sn/node/278>
3. WHO 黄熱 セネガル <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2020-DON303>
4. 英国NaTHNaC セネガル情報 https://travelhealthpro.org.uk/country/192/senegal#Vaccine_Recommendations
5. CDC黄熱・マalaria国別流行情報 <https://www.cdc.gov/yellow-book/hcp/preparing-international-travelers/yellow-fever-vaccine-and-malaria-prevention-information-by-country.html>
6. WHO 黄熱感染リスク国と証明書要求国リスト <https://cdn.who.int/media/docs/default-source/travel-and-health/countries-with-risk-of-yellow-fever-transmission.pdf>
7. WHO 黄熱ファクトシート <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/yellow-fever>